

こんにちは 牛越です

【第157回】
おわびの言葉



大町市長 牛越徹

このたび、市教育委員会が事務を所管しております鳥羽奨学会の資金管理を担当する職員が私的に流用していたことが判明しました。不正が確認された金額は850万円に上り、流用された全額が奨学会に弁済されましたが、決して許される行為ではありません。

この不祥事により市民の皆さまの信頼を大きく損ねましたことに、市政をお預かりする市長として深くおわび申し上げますとともに、この団体の理事長を務める立場からも、今回このような事態に立ち至ったことについて、深いご理解と温かいご支援をいただいてまいりました関係各位に、大変ご迷惑をおかけしましたことにおわび申し上げます。

事態が判明して以降、直ちに事実を公表して詳細な調査を慎重に行い、非違行為を行った者に対する厳正な処分を行いました。

また、こうしたことが二度と起こることのないよう、再発防止に向けた奨学会の事務体制の整備と改善を進め、早期に理事会に諮り、奨学会の執行体制全体の見直しを徹底いたします。

本年度、市職員のハラスメント行為や不適切な事務処理などによ

り、市政に対する信頼が大きく揺らぐ中で、さらに新たな事案が発生したことを、私自身、大変深刻に受け止めており、市長としての責務を深く自覚し責任を明らかにするため、私を含む理事者に減給処分を科すことといたしました。

この不正行為は、法令遵守の意識の欠如に起因するものであり、非違行為の当事者の責に帰すものではありませんが、日々真剣に職務に取り組み職員全員に対しても、私からメッセージを発し、市民の奉仕者たる公務員の本分に立ち返り、市職員としての自覚と誇りを持ち行動するとともに、動揺することなく、自らの職務に責任をもって取り組むようお願いいたしました。

一方で、こうした事態を生む背景にある市の組織の構造的な課題についても目をそらすことなく、改革に努めていくことが重要と考えます。目指すべき新しい組織の在り方について、職員と共に考え、その実現に向けて粘り強く築き上げていく決意です。

市民の皆さまの信頼を回復する道のは、長く厳しいものと覚悟しており、信念をもって取り組んでまいります。どうぞご理解いただけますようお願い申し上げます。